



新築住宅の施工ミス発生率 80%以上！

安心のために検査を入りたいのに…

新築工事の「第三者検査」が業者に断られる理由と回避策

業界初の個人向け不動産コンサルティング・ホームインスペクション(住宅診断)、マンション管理組合向けコンサルティングを行う“不動産の達人”株式会社さくら事務所(東京都渋谷区/社長:大西倫加)は、「新築工事チェック(施工途中の第三者検査)」が施工業者に断られてしまう理由とその回避策をサイト内にて公開いたしました。詳しくは下記コラムをご覧ください、本件に関する取材やご質問がございましたらお気軽にお問い合わせください。

「新築工事チェック」とは？

完成後には確認ができなくなる**基礎・構造・防水・断熱**など建物の**重要箇所**について、建物に精通したホームインスペクター(住宅診断士)が、工事中に検査を行うサービスです。

年間100棟を超える調査結果では、実に『**75%以上で施工ミス**』が見つかり、特に耐震性に関わる検査では不具合発生率80%以上となっています。**工事中の各検査や完成時の検査を組み合わせることで、欠陥住宅を未然に防ぐことができます。**



クラックはない？

【チェック箇所例】

隙間なく施工されている？



理由は妥当？!

施工業者が新築工事チェックを断る4つの理由

工期が遅れる

第三者検査によって工期が遅れるということは**施工や管理状況が悪い**からである可能性が考えられます。

なぜ遅れると思うのか、施工業者に聞いてみましょう。

何かあっても保証できない

検査員の怪我について**保証いただく必要はありません**。場合によっては弊社と一筆交わすことも可能です。

施工業者の社内検査と同日に行えば、**大きな手間がかかることはない**と考えます。

専用の図面をご用意いただく必要もありません。

手間がかかる

指摘されても直すとは限らない

指摘事項に対して直さないと判断する**妥当な理由があれば、必ずしも直す必要はありません**。

詳しい解説はコラムでご紹介！▶ <https://www.sakurajimusyo.com/guide/35810/>

✓施工不良の現状は？ ✓新築工事チェックの重要性 ✓なぜ施工会社は新築チェックを嫌がるの？

✓安心して家を建てるには ✓新築工事チェックではどんなところを見ているの？ ✓どうして施工不良が起きるの？ etc…

このような疑問・興味をお持ちの方は、お気軽に弊社広報室までご連絡ください。実際に検査を行なっている者が取材をお受けすることも可能です！

■不動産の達人 株式会社さくら事務所■ (東京都渋谷区/代表取締役社長:大西倫加) <https://www.sakurajimusyo.com/>

株式会社さくら事務所は「人と不動産のより幸せな関係を追求し、豊かで美しい社会を次世代に手渡すこと」を理念として活動する、業界初の個人向け総合不動産コンサルティング企業です。1999年、不動産コンサルタント長嶋修が設立。第三者性を堅持した立場から、利害にとらわれない住宅診断(ホームインスペクション)やマンション管理組合向けコンサルティング、不動産購入に関する様々なアドバイスを行う「不動産の達人サービス」を提供、60,000組を超える実績を持っています。

本件に関するお問い合わせは、お気軽に下記までご連絡ください。

株式会社さくら事務所

東京都渋谷区桜丘町 29-24 桜丘リージェンシー101

<https://www.sakurajimusyo.com/>

TEL 03-6455-0726 FAX 03-6455-0022 広報室: 堤 press@sakurajimusyo.com